

経済為替ニュース

SUMITOMO MITSUI TRUST BANK, LIMITED FX NEWS

第2424号 2018年09月18日(火曜日)

《 coming after the bell 》

今週の残る期間のポイントは、この原稿執筆時点では正式発表されていないアメリカのトランプ政権による「第三弾の対中国制裁」の中味（規模と対象品目、実施開始時期）と、それに対する中国の反応、そして第三弾に関する「マーケットの織り込み具合」です。直近のトランプ大統領のツイートによれば、「US-China trade announcement coming after the bell」ということなので、私がこの原稿を書き上げた後、読者の皆さんに届く前に正式発表の可能性はある。

筆者は、この原稿を書く直前まで正式発表を待っていた。アメリカの有力紙などが「発表は17日にも」とあったため。しかし執筆時点（日本時間18日午前7時）では中国の対米輸出品2000億ドルへの新たな関税賦課の発表はなかった。恐らくトランプ大統領は早く発表したいのでしょう。今見たCNBCには「Trump said he has great respect for Chinese President Xi Jinping, but the U.S. deficit was too big. "We can't do that anymore," Trump said.」とか「The comments come after director of the National Economic Council Larry Kudlow told CNBC's Becky Quick that Trump has "not been satisfied" with the trade talks with Beijing.」といった文章がある。

その後も「"The president has suggested tariffs on a couple \$100 billion" in Chinese goods, Kudlow said. "He has not been satisfied with the talks with China on this. My guess is that an announcement will be coming soon."」という文章が続く。予想より長引いたのは、項目を詰めているということもあるし、ムニューシン財務長官が今月中に中国側との協議に入るとも伝えられる中で、政権内部の「追加制裁反対派」の動きもあったのでしょう。しかし状況としては「間もなく」という印象です。

一番の問題は、いずれ2000億ドルの新たな対中制裁は発動されると予想される中で、「中国の出口」です。今朝の日経サイトには「中国、対米協議拒否も一第3弾関税表明なら」という記事がある。記事の中味は「トランプ米大統領が近く中国からの年2千億ドル（約22兆円）分の輸入品に対する第3弾の制裁関税の発動を表明する見通しとなったのを受け、米紙ウォール・ストリート・ジャーナル電子版は16日、中国側が米国との貿易協議を拒否する可能性がある」と伝えた」というもの。

同記事は更に『中国の劉鶴副首相率いる代表団はムニューシン米財務長官らと27、28の両日に閣僚級の貿易協議をワシントンで開催する予定。閣僚級協議の環境整備のため、今

週後半には中国商務省幹部がワシントンを訪問する計画だが、中国側はトランプ大統領が制裁関税発動を表明すれば「頭に銃を突きつけられたまま交渉することはない」としているという』と続く。

面子を大事にする中国としては、基本はその線でしょう。つまり「脅されての話し合い拒否」。しかし拒否した場合にはトランプ政権は関税率の引き上げ（10%→25%）や中国の全対米輸出への関税賦課の可能性を示唆している。この兼ね合いの中で中国がどう判断するかです。いずれにせよ着地点は見えなくなる。対立が長引けば米中双方の経済に大きな打撃です。

日本が連休中の週明け月曜日には、中国の代表的株式市場である上海株式市場で株価は上海総合指数で見て 2651 まで下落した。これは 2016 年 1 月につけた「人民元ショック」後の安値更新。銘柄の約 8 割が値下がりするほぼ全面安の展開だった。これを受けて米中貿易摩擦がアジア経済の重荷になるとの懸念から香港や韓国、シンガポールなどアジア市場も軒並み売られた。

問題はこの週明けのアジアの株安が欧州、そしてアメリカにも波及したこと。欧州の株安は限定的だったが、ニューヨークのダウは週明け 92.55 ドル安となった。SP500 も 16.18 ポイント安、Nasdaq は 114.25 ポイント安と下げが大きい。Nasdaq の下げが大きいのは対象品目の中にはアメリカのハイテク企業（例えばアップル）が中国で生産している製品がかなり含まれる見通しにあること。これは世界中の消費者にとって、よってアメリカの企業にとって大きな打撃です。

《 trying 3% again 》

あとマーケットの注目は、8 月のアメリカ雇用統計の中でついに労働賃金の上昇傾向が鮮明になってきた中で、再びアメリカの長期金利が上昇してきたことでしょうか。週明け 17 日の一日の指標 10 年債利回りの動きを見ると、一番高いところで 3.019 がある。つまり一時は 3% 台に乗った。引けは 2.989% だが、雇用統計前の 2.8% 台に比べればやや高い水準だ。これを受けてドルは先週後半にかけて強かった。ドル・円も 112 円台があった。しかし今朝は米中摩擦の激化予想の中でドル・円は 111 円台の後半となっている。

現段階の予想では、「September25-26*」の FOMC では利上げが予想される。今までの「片足 2%」から、両足 2% 台に乗る。これはやはりドル高要因です。「今のアメリカ経済は好調。摩擦が激化して困るのは中国」とトランプ大統領が豪語するほどにアメリカ経済は強い。同時に同大統領は「利上げは好きではない」とも述べているが、パウエル FRB としては「利上げ」は少なくとも今年中は続けるものと思われる。問題は来年どうするかです。

今週の主な予定は以下の通り。

09月17日（月曜日）

敬老の日

米9月NY連銀製造業景気指数

09月18日（火曜日）	マレーシア市場休場 日銀金融政策決定会合 米9月NAHB住宅市場指数 米7月対米証券投資 国連総会開幕
09月19日（水曜日）	黒田日銀総裁会見 8月貿易統計 8月訪日外客数 タイ中銀金融政策決定会合 米4~6月期経常収支 米8月住宅着工件数 米8月建設許可件数 ブラジル中銀政策金利発表
09月20日（木曜日）	20年国債入札 自民党総裁選挙投票開票 ゲーム見本市「東京ゲームショー2018」（～23日） 米9月フィラデルフィア連銀製造業景況感指数 米8月中古住宅販売件数 米8月CB景気先行総合指数 米10年インフレ連動国債入札 インド市場休場
09月21日（金曜日）	8月消費者物価指数 7月全産業活動指数

《 have a nice week 》

3連休はいかがでしたか。今後まだ「3連休」は続くようで、この週末はその第一弾ということでしたが、車で都内を走っていてもいわゆる「県外車」が多く見受けられた。連休を利用して遠出しておられる方々が多く見受けられました。東京は昨日は午後大雨となって、天候は必ずしも旅行者に優しくなかったが、徐々に台風を含めて一雨降るごとに「秋になる」気配が強まってきました。あの暑かった夏も「思い出」です。

週末は樹木希林さんが亡くなられた事、安室奈美恵さんの引退など女性が大きな話題となりました。ちょっと前からですが、全米オープンテニスを制した大坂なおみさんもニュースとして相変わらず大きかった。相撲観戦したとか。彼女は今週は日本でのトーナメントに出場する。最近の日本では「女性がニュースになる」ことが続いている。

樹木希林さんとは10年以上前ですかね、担当していたBSの番組の相方アナウンサーの結

婚式で、式の主賓同士として対面して座り、3 時間ほどご一緒したことがあります。非常に静かな方で、「ショッキング（良い意味で）な生き方をする方」という従来の印象が払拭されたことを思い出しますが、しかしどこかに非常に強いものを感じる方でした。

ショッキングという意味は、寺内一家のジュリーの写真の前でのもだえ方、それまでの芸名を売って樹木希林にしたこと、そして癌とともに晩年を過ごされたこと、特異な結婚生活など。「生き方」と「残した言葉」が非常に強く印象に残った。映画の「そして父になる」でも「万引き家族」でも、樹木希林さんの演技の中では小声で喋る「つぶやき」がとっても印象的でした。ほんの短い言葉の中で人生の真実を語ることがうまい人という印象がある。彼女もテレビの中で「脇役は短い台詞が勝負」と言っていた。「なるほど」と思いました。

安室奈美恵さんは、最後のアルバム「Finally」は私の最近のお気に入りです。予約購入して何回も何回も聞いた。全体を流れる「Finally」という曲（最後の 52 曲目）がアルバム全体を彩っているのですが、私は何故か 49 番目の「How Do You Feel Now ?」が以前からとっても気になっていた。それはそこに登場する人物です。

昨日午後にフジテレビの番組に出た中で、彼女にとっての最後の沖縄でのコンサートで、トリの曲に彼女がこの「How Do You Feel Now ?」を選んだと聞いて、「なるほど」と思いました。それはコンサート会場に来た聴衆に向かって「今どんなふう（感じている）？」と聞いているように聞こえるし、もう一つ音楽ビデオに登場する人物に語りかけているようにも思える。とってもそれが印象的でした。

それでは皆様には良い残りの週を。

《当「ニュース」は三井住友トラスト基礎研究所主席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記したものであり、三井住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報源から入手したものです。正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》